



2023.2.27 第38号

森田 博

学年末ふりかえり
理科はなぜ学ぶのか？

1年間を振り返って～理科は何のために学ぶのか～

5年 6年

※学年末テストに付け加えた記述式の問いに児童が答えた内容です。

理科なぜ学ぶ

将来に役立つ。

これからの未来、いろいろな問題がある。それを解決するための問題で、実験、性質などを役立たせる。

災害から身を守る仕方がわかる。

日常で物の性質を理解していれば、より対立的にあらゆることを進めることができる。その応用や組み合わせによって、より便利なものを生み出すことができる。

地震などの災害のとき、必要なものが理科を通してわかる。

深く、考える力をつけたり、自分の将来について考えたり、親に感謝をすることができる。(人のたんじょう)

実験、観察を通して、洪水が起きたら、まず何をするのかわかる。

実験をすることで自分の中にあった疑問が解ける。

地球温暖化など、自分にできることはなんだらうと考えた。

環境問題を放っておくと大変だと理解し、改善の必要性を学ぶ。

問題に対して、自分で考える力をつけるため。

身近な環境問題や災害のとき、実験の結果などを思い出して、生き残る方法などを学ぶ。

自然と触れ合う良さ、身近な生き物の不思議を見つけることができる。生活が豊かになる。

理科を学ぶとどんどんいろいろなことが知りたくなっていく。

実験や観察を通して体験し、考えることが理科を学ぶ必要性。

生活の中でも災害に役立つ。将来の夢のための教科だと思う。

火を扱うとき、酸素や二酸化炭素に気を付けなければいけない。日常生活で理科の知識を使うため。

災害のことを知っていたら、どんな準備がいるかわかる。

この地球でどう生きるかを学べる。

実験や観察を通して、探求心を育む。災害を知り、準備できるようにする。

生活の中で、理科に関するものが多いから、知っておくとよい。夢が増えるかもしれないから楽しくできる。

これからの世界で、とても便利な物の開発をし、困っていることの解決策を見つけ出す。

理科はたくさんの場面で活躍する科目。

自然や物のしくみについて考え、自然の働きに感謝し、自然を大切にしていけること。学んだことを将来や生活に生かすこと。

地球の課題をどうしたら最小限の被害で済むか考えることが大切だから理科を学ぶ。

みんなと協力して実験をすればいけない大切さを学んだ。

植物の光合成を学ぶことで、植物が環境問題に対してどれだけ大事なのかを知ることができる。

虫や魚などの生き物を知ることができるし、自然や環境の大切さ、身近なものの大切さがわかる。

どうしたらうまくいくなと考えることで、自分で考える力がつく。

理科を学ぶとどんどんいろいろなことが知りたくなっていく。

興味やわくわくが出てきて、自分の頭の中で予想したり、工夫したりして生活に生かせる。